

令和6年度
日本環境毒性学会研究発表会
(対面・オンライン)

プログラム

2024 年
9 月 30 日(月)9:00-12:00

金沢大学環日本海域環境研究センター

研究発表会におけるご連絡および注意事項

- 会議室(zoom)のアドレスは受付確認後のメールに記載します。
 - ビデオおよび音声は必ずオフにしてください。
 - 開演予定 30 分前から入室できます。開演 10 分前までにお入り下さい。時間がきたら会議室に入室できます。
 - 一般研究発表は口頭発表のみで、一題 15 分(発表 12 分, 質疑 3 分)です。発表は、パワーポイントもしくは PDF での発表とします。講演時に発表者が「共有」から各自の発表ファイルを開いて、自身で操作しながら発表を進めてください。
 - 質疑はまずチャット機能で手をあげ、座長の許可を得てから行って下さい。
 - 動画の使用は禁止します。
 - 録音、録画、スクリーンショット、再中継等は禁止です。
 - 質問を求める場合は、まずチャット機能で質問内容を書き、座長の指名を得てから行って下さい。
 - 講演者以外、座長の許可が無い画面共有は禁止します。
 - 講演中に不適節な発言、画像の送信等があった場合は切断させていただくことがあります。
 - zoom 会議の品質は接続速度に依存します。そのためには wi-fi はできるだけ避け、回線速度を測定しておくことをおすすめします。主催者側では責任は持ちません。
 - ウェブ経由で発表内容が漏洩する可能性がゼロではないことをご認識の上、研究発表に臨んでください。
 - 以上ご参加の皆様には上記事項について同意していただけたものとします。
 - 対面参加の方で Wifi 環境が必要な方には、個別に eduroam アカウントを配布しますのでご連絡下さい。
-

主催：日本環境毒性学会

共催：国立大学法人金沢大学 環日本海域環境研究センター（〒920-1192 石川県金沢市角間町）

期日：2024 年 9 月 30 日（月）

会場：金沢大学 角間キャンパス 自然科学本館図書館棟 G1 階 G15 会議室
オンライン(対面とオンライン併用)

日程

2024 年 9 月 30 日(月)

- | | |
|------------|-------------------|
| 9:00-12:10 | : 研究発表会 |
| 13:30～ | : 総会 |
| 14:45～ | : CERI 賞授与式 受賞者講演 |
| 18:30～ | : 懇親会 |

講演プログラム

2024年9月30日(月)

	講演 番号		座長
9:00	9:05	開催の挨拶	
9:10	9:25	1 植物に対する内分泌かく乱物質の脅威:ノニルフェノールが雌雄同株植物の性比に与える影響の検証 (奨励賞審査) ○安田彩人・土井具汰・石若直人(近畿大院・農)・平岩将良・早坂大亮(近畿大・農)	鈴木信雄 (金沢大学)
9:25	9:40	2 ラオス北部の農村住民におけるネオニコチノイドの尿中濃度とその影響要因に関する研究 (奨励賞審査) ○佐藤雅哉(金沢大学)・梅崎昌裕・水野佑紀・木部未帆子・富田晋介(東京大学)・夏原和美(東邦大学)・本田匡人(金沢大学)	
9:40	9:55	3 能登半島で観測した毒性の強い炭素性エアロゾルの経年変動 (奨励賞審査) ○白芑楚・王琰(金沢大)・張露露(湖工大、金沢大)・張璇(安衛研)・本田匡人・鈴木信雄(金沢大)・丑欣(同済大)・長尾誠也(金沢大)・鳥羽陽(長崎大)・唐寧(金沢大、瀋工院)	
9:55	10:10	4 Characteristics and Health Risks of PM2.5-bound polycyclic aromatic hydrocarbons (PAHs) and nitro-PAHs (NPAHs) in Shimane in 2022 (奨励賞審査) ○Yan Wang・Pengchu Bai (Kanazawa Univ.)・Lulu Zhang (Hubei Univ. of Tech.; Kanazawa Univ.)・Xuan Zhang (JNIOOSH)・Xin Chou (Tongji Univ.)・Nobuo Suzuki・Masato Honda・Seiya Nagao (Kanazawa Univ.)・Shingo Matsumoto・Tamon Yamashita・Masaaki Yoshida (Shimane Univ.)・Ning Tang (Kanazawa Univ.; Shenyang Inst. of Eng.)	
10:10	10:25	5 Indeno[1,2,3,-cd]pyrene inhibit early development of upstream freshwater to deep-sea fisheries species (奨励賞審査) ○Muhammad Ahya Rafiuddin・Masato Honda (Kanazawa Univ.)・Kenji Toyota (Hiroshima Univ.)・Arata Nagami・Shozo Ogiso (Kanazawa Univ.)・Tatsuo Harumi (Asahikawa Medical Univ.)・Masakazu Kondo (National Fisheries Univ.)・Nobuo Suzuki・Hajime Matsubara (Kanazawa Univ.)	
10:25	10:35	休憩	
10:35	10:50	6 PFOS・PFOA の予測無影響濃度 ○永井孝志(農研機構 農業環境研究部門)	加茂将史 (産総研)
10:50	11:05	7 局所麻酔薬のクラミドモナス鞭毛に対する作用 ○西川淳(金沢大)・酒徳明宏・田中大祐・中村省吾(富山大)・鈴木信雄(金沢大)	

- 11:05 - 11:20 8 **フッ化ナトリウムは海産及び淡水産硬骨魚類のカルシウム代謝に影響を及ぼす**
○鈴木信雄・佐藤将之・谷内口孝治・小木曾正造(金沢大学)・田淵圭章(富山大学)・三島弘幸(鶴見大学・東京大学)・Ajai K. Srivastav(ゴラクプール大学)・服部淳彦(立教大学)
- 11:20 - 11:35 9 **Pyroplastics in the Japan Sea Environment**
○Edward G. Nagato (Shimane University)・Masato Honda (Kanazawa University)
- 11:35 - 11:50 10 **原始的脊椎動物モデルにおける芳香族炭化水素受容体 AhR の分子機能解析**
坂井孝嘉(金沢大学・環日センター)・矢澤隆志(旭川医科大学・生化学)・生田統悟(埼玉がんセンター・臨床腫瘍研究所)・和田修一(長浜バイオ大学・バイオ・アニマルバイオ)・○関口俊男(金沢大学・環日センター)
- 11:50 - 12:00 **第18回生態影響試験実習セミナー開催のお知らせ**
○渡辺春奈(国立環境研究所)
- 12:00 - 12:10 奨励賞授与、閉会の挨拶